

第3回大阪府高等学校図書館研究会 例会

「蔵書管理システム」でのカウンター業務を中心とした図書館のIT化

大阪府立港高校 学校司書 高瀬 由佳
富士通ビジネスシステム 森本 有紀
中井戸 範之

日時：平成20年11月12日（水）

場所：大阪府立港高校

はじめに

府立高校に「府立学校図書システム」が導入され、蔵書管理やカウンター業務がIT化されつつある。それぞれの学校でのトラブルや操作のわかりにくいところは、その都度サポートセンターに問い合わせをされているが、これから導入する学校やコンピュータ操作に詳しくない司書の不安や疑問も多くよせられている。ひとつの学校のトラブルはすべての学校に当てはまると考え、アンケートを元に具体的な操作説明を目的とした研修会を実施した。また、私立高校も含めた大阪府下の高校図書館のIT化についても、アンケート結果から情報交換を行った。

I 図書館のIT化についてのアンケート（集計）

アンケート項目（資料1）

アンケート集計（資料2）

府立、私立、国立、市立に分け、資料登録業務やカウンター業務についてアンケートを行った。集計結果については資料2の通りである。



II 「府立学校図書システム」を使った港高校でのカウンター業務

これから導入される学校もあるので、まずカウンター端末ではどのような作業ができるのかについて実際の画面を見てもらうことにした。2007年度から現在までに港高校で行っているカウンター業務をマニュアルやメニュー画面にそって簡単に報告する。報告の後、FJB（富士通ビジネスシステム）の中井戸さん、森本さんより詳しい操作説明をしていただいた（太字・下線の部分）。内容は「府立学校図書システム（コンソール端末）」のメニュー画面 Link の「図書システム手順書」で確認することができる。

1. 事前準備

- (1) 利用者データ作成
- (2) データセットアップ
- (3) 利用者データの登録

利用者データ登録時のエラーの見方

バーコードの印刷

利用者データの修正



2 . 基本環境

- (1) 図書館名設定 所蔵場所を設定
- (2) 利用者区分設定
- (3) クラスコード設定
- (4) 貸出規則設定 利用者資格別に貸出日数などを登録
- (5) 休館日設定
- (6) 資料コード設定 旧資料コード (1 2 桁以外のもの) を使うとき

3 . 年度処理

- (1) 年度末に行うこと
- (2) 卒業生データの削除
- (3) 進級処理
- (4) 利用者データの登録

4 . USBメモリによるコンソール端末からカウンター端末へのデータ移動

- (1) データ移行時のエラーの見方
- (2) USBメモリプログラム更新について

5 . 窓口業務

- (1) 貸出
- (2) 返却
- (3) 予約

6 . 資料管理業務

7 . 資料管理帳票

- (1) ベストリーダー
- (2) 蔵書統計

8 . クラス別統計 * 日次後処理プログラムについて

9 . 利用者管理

- (1) 返却督促一覧表
- (2) 貸出一覧表
- (3) 督促状
- (4) CSVデータの利用について

10 . 運用管理 バックアップのとり方



1 1 . 相互貸借業務

- (1) ユーザーID、パスワードの追加方法
- (2) 相互貸借館コード設定
- (3) 相互貸借借受資料書誌所蔵登録（手入力）
- (4) 相互貸借借受タイトル一覧



III よくある問い合わせ

今回のアンケートや富士通サポートセンターに多く問い合わせのあった内容について説明していただいた。

1 . 蔵書点検処理について

パソコンにある所蔵データと実際の本の状況との突き合わせを行い、不明本、棚違い本、直返し本などのチェックを行う。

- (1) 前処理...蔵書点検のための情報を設定する。
- (2) 本処理...点検データを入力する。
- (3) 後処理...不明資料にデータベースのデータを更新する。

2 . コンソール端末の操作で多く寄せられた質問より

- (1) 組替処理について
- (2) 資料コード張替処理について
- (3) 所蔵連続変更について

IV その他

1 . 大阪府高等学校図書館研究会の Web ページについて

URL <http://www.ohs-lib.net/>

（「大阪府高等学校図書館研究会」と入力すると、

Google と Yahoo! JAPAN で検索が可能）

2 . 「府立学校教職員ポータルサイト」への入り方

おわりに

この例会のために実施したアンケートの回収率は、府立高校が約 60%・府立以外が約 43%であった（ご協力を感謝します）。そこからわかったことは、

府立高校の約 94%がコンピュータ化を進めており、そのうち約 62%がカウンター業務に利用していた（2年未満のカウンター業務利用は約 48%なので、現在進行中が多い）。私立高校では約 85%がコンピュータ化を進めており、うち約 80%以上がPCでカウンター業務を実施しており（4年以上が約 51%）、私立高校は府立高校よりも長い実績があることがわかった。しかし、サポート面に不安があるとの意見も多く寄せられている。

今回はテーマの関係もあり、府立高校を中心に多数の方が出席されていた。コンピュータ利用について具体的に把握できた有意義な例会であった。

図書館の IT 化についてのアンケート						
あなたの図書館は次のいずれですか？			<input type="checkbox"/> 府立	<input type="checkbox"/> 私立	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 市立	
図書館で蔵書管理などの「コンピュータ化」をしていますか？	資料登録業務でしている	<input type="checkbox"/>	入力冊数(A) <input type="text"/>	蔵書冊数(B) <input type="text"/>	$(A/B) \times 100$ %	
	カウンター業務でしている	<input type="checkbox"/>	実施年数を記入してください。 <input type="checkbox"/> 1年未満 <input type="checkbox"/> 1年から2年未満 <input type="checkbox"/> 3年以上 <input type="text"/> 年			
	その他の業務でしている	<input type="checkbox"/>	具体例 <input type="text"/>			
	どんなコンピュータシステム を使っていますか？	<input type="checkbox"/> 府立高校蔵書管理システム <input type="checkbox"/> 上記以外のシステム(名) <input type="text"/>				
	していない	<input type="checkbox"/> 近いうちにする予定あり	<input type="checkbox"/> 近いうちにする予定なし			

該当する に 横 を記入してください。
(このアンケートを添付ファイルで作成するときは、 に 横 を コピーしてから貼り付けることができます。)

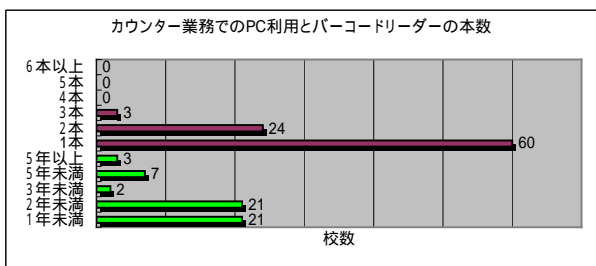
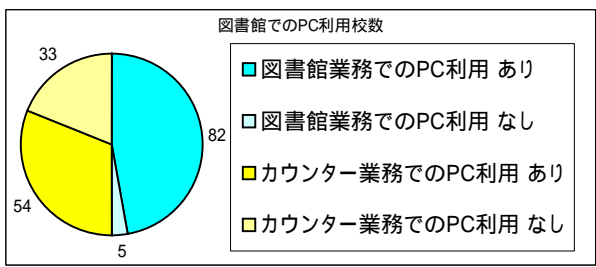
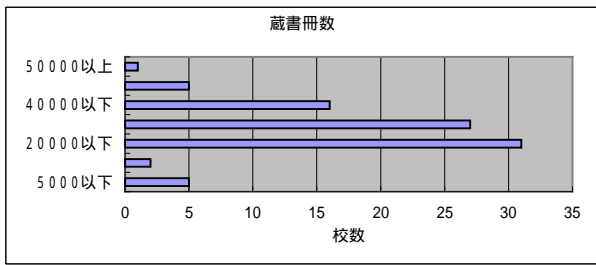
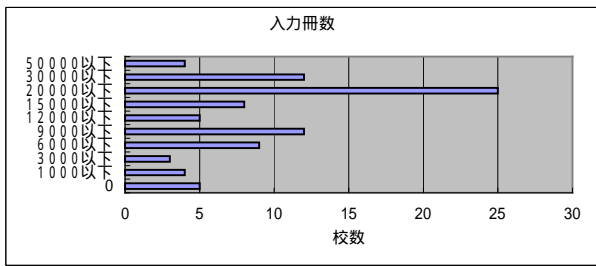
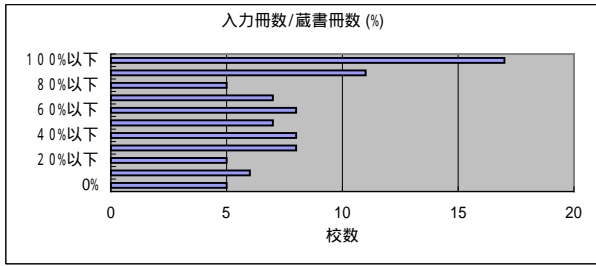
また、 $(A/B) \times 100$ %のところは、お手数ですが、小数点以下を四捨五入してご記入してください。

第3回研究例会で話題にする内容のご希望をお書きください。 <できれば具体的に>

カウンター業務の事前準備 (利用者データ作成 データセットアップ 利用者データの登録 バーコードの印刷 利用者データの修正) <input type="checkbox"/>
カウンター業務の基本環境 (図書館名・所蔵場所・利用者区分・クラスコード・貸出規則・休館日・資料コード設定 旧資料コード(12桁以外)使うとき) <input type="checkbox"/>
年度処理 (年度末に行うこと 卒業生データの削除 進級処理 利用者データの登録) <input type="checkbox"/>
「蔵書管理システム」についてのご意見やご要望をお書きください。

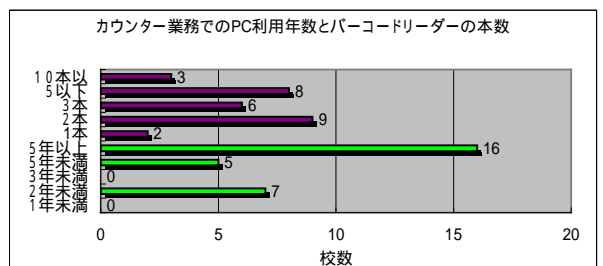
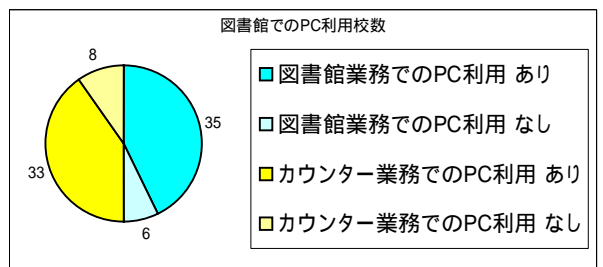
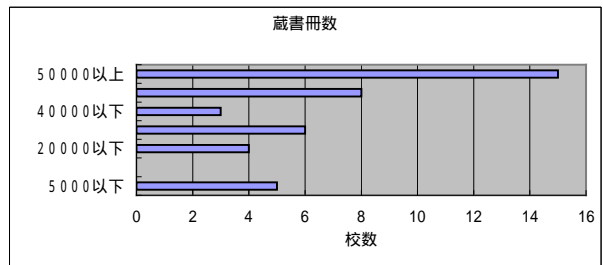
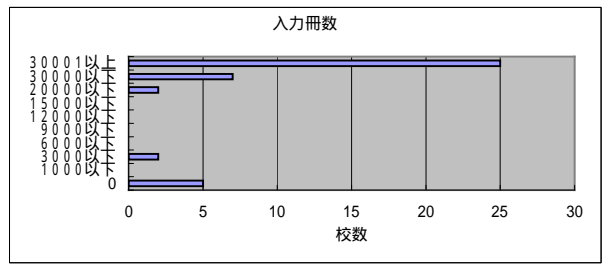
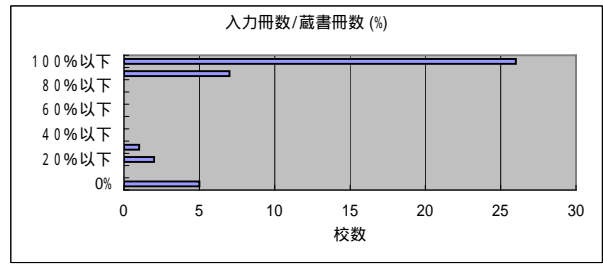
資料 2

府立



回答数 87校

府立以外



回答数 41校